

**製品名: IFN- $\alpha$ 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12400**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ELISA   |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量  | 22kDa                                 |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | IFNA1/IFNA13   |
| 別名           | IFNA1; IFNA13; Interferon alpha-1/13; IFN-alpha-1/13; Interferon alpha-D; LelF D |
| 遺伝子 ID       | 3439.0   |
| SwissProt ID | P01562   |
| 免疫原          | 抗血清はヒト IFNA1/13 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲:<br>140-189                    |

**背景**

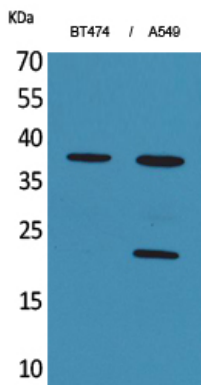
この遺伝子によってコードされるタンパク質はマクロファージによって産生され、抗ウイルス活性を有する。この遺伝子はイントロ

ンを持たず、コードされるタンパク質は分泌される。[RefSeq 提供、2011 年 9 月],機能: マクロファージによって産生される IFN- $\alpha$  は抗ウイルス活性を有する。インターフェロンは、タンパク質キナーゼとオリゴアデニル酸合成酵素という 2 つの酵素の産生を刺激する。、その他: インターフェロン  $\alpha$ -1 と  $\alpha$ -13 は同一のタンパク質配列を有する。、多型性:  $\alpha$ -1a (ここに示す) と  $\alpha$ -1b の 2 つの型が存在する。、類似性:  $\alpha/\beta$  インターフェロンファミリーに属する。、

## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;オートファジーの制御;抗原処理および提示;Toll\_Like;RIG-I 様受容体;細胞質 DNA 感知経路;Jak\_STAT;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性;自己免疫甲状腺疾患;

## 画像データ



BT474、A549 細胞の IFN- $\alpha$ 1 ポリクローナル抗体を用いたウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。